

## USPTO、イノベーション促進のための AI 戦略を公表

2025 年 1 月 17 日  
JETRO NY 知的財産部  
蛭田、田畑

USPTO は、1 月 14 日、USPTO の業務やイノベーションエコシステム全体に AI を活用するための戦略<sup>1</sup>を報告した。この戦略では、次の 5 つの重点分野とそれぞれの行動指針が特定されている。

1. 包摂的な AI イノベーションと創作活動を促す知的財産政策の構築
  - ①AI 関連の政策課題の変化を予測して効率的に対応する
  - ②AI のイノベーションと経済活動・知財政策との関連性を研究する
  - ③AI イノベーションに様々な人・機関を巻き込む
  - ④連邦政府、米国外のパートナー、公衆と協力して知財政策に貢献する
2. インフラ、データ、ビジネス主導の開発への投資による AI 能力の最大化
  - ①複雑化するユースケースに AI を利用できるように USPTO のコンピュータ・データ活用を継続的に行う
  - ②AI イノベーションを進めるために利用分野を特定してプロトタイプの構築からその導入までを追求する
  - ③ビジネス、技術、エンドユーザーを密に連携させて価値を最大化させる
3. USPTO やイノベーションエコシステムでの責任ある AI 利用の促進
  - ①価値を意識した開発、リスク軽減、透明性の高いステークホルダーとのコミュニケーションを通じて AI の適用に関する USPTO への信頼を維持する
  - ②広範なイノベーションへの AI の利用を監視して知財の啓発につなげる
4. USPTO 職員の AI に関する知識・スキルの向上
  - ①審査における AI 関連の課題に対する研修を拡張する
  - ②AI 専門家により USPTO 職員をサポートする
5. 優先的な AI 課題における連邦政府機関、米国外の機関、公衆との協働
  - ①AI/ET パートナiership<sup>2</sup>などを通じて将来の AI 政策・技術を通知する
  - ②政府機関の連携を促進して新たな連携の可能性を特定する
  - ③国際的な知財システムに影響を与える AI 関連課題について米国外のパートナーと協力する

この AI 戦略では、AI 関連発明の特許出願は 2002 年との比較で 2 倍以上に増加しており、2018 年以降で 33%増加した旨も報告されている。また、AI の利用が広範な技術分野に及んでおり、2023 年には技術サブクラスの 60%で AI 関連の出願があったとされている。

(以上)

<sup>1</sup> <https://www.uspto.gov/sites/default/files/documents/uspto-ai-strategy.pdf>

<sup>2</sup> AI and Emerging Technology Partnership